



ひがし野

教育目標
 真理(まこと)を求めらる生徒
 情操(こころ)を深める生徒
 身体(からだ)を鍛える生徒
 高め合い 磨き合い 感動し合い
 「愛」いっぱい真岡東中



「ありがとうを叫べ」 ～令和3年度ひがし野祭から～

10月23日、秋晴れの中、令和3年度のひがし野祭を実施することができました。各家庭一人に限定させていただきますでしたが、保護者の皆様に本校の伝統である、素晴らしい合唱コンクールをご覧いただけたことを大変嬉しく思います。校内合唱コンクールは、学級という限られた集団で歌い上げなければなりません。どの中学校でも合唱コンクールは実施されておりますが、各パートの音をしつかりと歌うことに苦慮しています。しかし、真岡東中の合唱は、各パートの音をとるという次元を超え、しっかりと「曲想」を表現するレベルにあります。その曲想の表現は、強弱であったり、テンポであったり、時には歌う人の表情であったりもします。それらの表現が、東中には伝統的に引き継がれており、今年の3年生は、さらにその伝統を高いものにしてくれたと断言できます。合唱の指導には、音楽の授業に加えて各担任のサポートが欠かせませんでした。学級の生徒と共に、合唱というツールを通して心を通わせている教職員の姿を見て、全ての生徒たちと教職員に、ありがとうを心の中で叫びました。



1年生最優秀賞 1年4組【明日へ】



2年生最優秀賞 2年1組【群青】



3年生最優秀賞 3年1組【アイコトバ】

ベルゼール・ブランシュ～美しき白い翼～ 東日本吹奏楽コンクール：金賞

10月9日に、本校吹奏楽部が東関東の代表として北海道・札幌で行われた「東日本吹奏楽コンクール」に出場し、見事金賞を受賞しました。札幌にあるKitaraという、観客席が演奏者を360度囲んだ素晴らしいホールでの演奏でした。これまで、「一心不乱」を合言葉に、全国大会での金賞を目指し、一生懸命練習に励んできた吹奏楽部の演奏を、この目に焼き付けようと札幌まで行ってきました。しかし、「ベルゼール・ブランシュ～美しき白い翼～」が流れ始めると、涙があふれ出て、必死に演奏する生徒たちの顔を見ることができませんでした。その演奏は、確かに会場にいる観客を魅了したことを確信しました。全国大会における金賞。その道程は決してたやすいものではなかったはずですが、様々な葛藤もあったことと察します。それらを乗り越え、指導者とともに、「一心不乱」心をついにした演奏は、音楽の本当の素晴らしさを伝えてくれました。これまでの生徒たちの努力に心から敬意を表します。



強い信念でつかみ取った栄冠 ～芳賀郡市・栃木県駅伝大会～

10月26日に芳賀郡市中学校駅伝大会が行われ、男子が準優勝・女子が優勝し、県大会への出場権を獲得しました。そして、11月6日に栃木県中学校駅伝大会に出場してきました。

炎天下の7月から練習を開始しましたが、最初の頃は暑さと苦しさに耐えるのが精一杯の様子でした。しかし、練習を積み重ねるごとに、徐々に体力と忍耐力をつけ、長距離選手らしい走りができるようになってきました。

球技のように何かを追いかけたり、ゴールが決まったりすることのない長距離走。ややもすれば、辛いだけの種目とも言えます。その辛さに打ち勝ち、一人一人の選手が強い信念をもって練習に励んできたからこそ、つかみ取った栄冠です。県大会では、男子は持ちタイムを伸ばして12位でゴールしました。そして、女子は2連覇となる優勝を果たし、関東大会・全国大会の切符を手に入れました。関東大会は12月5日に栃木県で、全国大会は12月19日に滋賀県で行われます。全国の舞台でも、真岡東中の名を轟かせてくれることを信じています。

